



かえでゆうびん 8月号

2023年8月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

世界中が温暖化による影響で、「熱中症警戒アラート」が発令されたり、毎日「暑さ指数を」測りながら暑すぎるといより熱すぎる時には園庭遊びを断念したり、夏を満喫というより体に優しい状況を探しながら毎日を過ごしています。私たちが学生の頃は、「水を飲めない」「陰にも入らない」ただひたすら「根性」でスポーツをしていましたが、これだけ異常な気温が続いてしまうとこれからどうなってしまうのか恐ろしくなります。

少し前は今の温度が3度上がると、小さな島が沈んでしまう状況だとか、南極の氷が解け始め生態系が変わっていく等、遠くの国で起こっている現象としか受け止めていなかったことが、こんなに急速に普通の生活すら進めていけない状況になってしまっている現在、一人一人が小さなことでも自然を守る事を考えていかなければならない時期に入っています。

皆さんはこの異常気象をどうお子様に伝えていきますか？

かえで保育園では、「いつも自分の命は自分で守れるよう方法を自分で考える」ということをその都度、子どもたちに伝えています。

外遊びの前、途中、入室後に「ひやりん」での水分補給は子どもたち自ら行います。(乳児は保育者が提供) この習慣はのどが渇くこと⇨体に必要な水分補給を自分で調整することができるよう、園の中央に「ひやりん」をセッティングしています。午前中は体を動かしてしっかり汗をかく⇨汗をかくのは自ら体温を下げるのに必要な生理的現象です。汗をかいたらシャワーをして体をさっぱりしてから室内遊びに移行します。

この当たり前の習慣こそ、自分の体感でのどの渇き、体温調整をできる身体作りにつながっていきます。

また、室温は26～28度で少し汗ばむくらいの温度に設定しています。特に乳児期は汗腺を発達させて汗を欠けるか体作りがとても大切になります。乳幼児期にエアコンの良く効いた室内で過ごしていると汗腺も開かず体温調整ができない体のまま青年期になり、体温調整ができず熱がこもってしまい少しの気温の上昇で熱中症につながってしまうこととなります。これから自分の体も守りながら、将来地球が壊れていかないよう自分にできる過ごし方を考え、異常気象にも対応できる生活の工夫や自分を守る方法を子どもたちが見つけ出せるよう保育園の生活の中で伝えていきたいと思えます。

「SDGS」の取り組みは持続可能な自分のできることを見つけ、皆が過ごしやすい地球にしていこうため地球にやさしい生活を子どもたちと共にみつけていきたいと思えます。

読売新聞に昨年からの取り組みが取り上げられました。今年度の子どもたちがどんな活動を広げていけるか、またお知らせしていきたいと思えます。

おねがい

- ・8月大学生の実習の受け入れを行います。
- *常磐大学 2名(17日～30日)
- *神戸元町こども専門学校 1名(21日～31日)
- ・熱中症対策として、こまめな水分補給をしています。暑さ指数を9:00と15:00に確認し園庭遊び等も調整しています。
- ・夏季保育の調査の提出ありがとうございました。保育希望を提出された方も後でも変更があった場合は速やかに申し出ください。保護者の方の休暇等の場合はご自宅で過ごしていただくようご協力ください。

おしらせ

全てのものに名前を書いてあげてください

(名前がないと子どもが着替えたり片付けるときに困っています)

- ・お子様の清潔を保つためにシャワーをしています。毎日身体拭きタオルの持参して下さい。いつでも遊べるよう多めの着替え・パンツの用意をお願いします。

- ・8月よりめばえ組に1名、お友達が増えます。

8月の予定

- ・夏季保育8月10日～17日(就労の方のみ)
- *12日土曜日は弁当日
- ・7日(月)月例健診
- ・25日(金)だいち園外保育予定
- *詳細は後日お知らせします
- ・28日(月)就職支援事業バスツアー受け入れ10:20～10:50
- ・29日(火)誕生会
- ・9・23日(水・水)絵画
- ・3・10・24・31日 体操(17日はお休みです)

9月の予定

- ・敬老週間

先生のメッセージ

先日、友だち親子と一緒に動物園に行きました。以前会った時は、ベビーカーに乗っていたのが、今では自分の行きたい場所までしっかり歩く姿に成長を感じながら園内散策していました。

最近、子どもカメラで写真を撮るのに興味があるようで、マイカメラを持って大好きなきりんがエサを食べている姿、ペンギンが気持ちよさそうに泳ぐ姿を写真のピントはぼやぼや、ブレブレではありますが撮っている本人は真剣な表情です。写真を撮り終わると「見て！」と笑顔で満足そうに写真を見せてくれました。

かえで保育園の子どもたちと過ごしている中でも「見て見て」と声を掛けにきてくれる子、引き込まれるようにじっと観察したり、触れたりしながら気づきを発見している子と様々です。子どもの目線や世界観をのぞいてみたいなと思いながら一緒に過ごしています。

私自身も子どもたちの気づきを楽しみながら、子どもの目線や気持ちに寄り添っていきたいと思えます。

H先生

メッセージ



梅雨明けから一気に暑い夏がやってきました。園庭ではあちらこちらで水を使った遊びが繰り広げられています。水に映るキラキラの光に魅せられ、お友達と一緒に透明の入れ物やペットボトルに水を入れ、たくさんのキラキラを見つけ楽しんでいました。

「先生きれいでしょ?」「でもね、キラキラはいつも見えないよ」「どうして?」と尋ねると「暑いからかな?」「朝はいっぱいキラキラしてるよ」と朝のときめきを嬉しそうに教えてくれました。まだまだ暑い日が続きますが、こまめな水分補給や休息を取りながら、夏ならではの遊びの環境作りを整えて行きたいと思います。

7月20日久しぶりのかえでカフェを行い、10名の方が参加してくださいました。私の母の味でもあり、かえで保育園の献立にも入っている「冬瓜スープ」をご紹介しました。冬瓜なんて子どもは食べるのかな?と思われるかも知れませんが、少し煮込めば冬瓜はトロトロになります。ぜひ夏のおいしい冬瓜スープをお家でも作ってみてください。

今回も自己紹介や情報交換をして、異年齢クラスの方との交流が深まった時間となりました。今回参加できなかった方も次回にはぜひご参加下さい。お待ちしております。

F先生

暑い夏、かえで保育園の中ではおまつりごっこが盛りあがってきました。

仕切りのある空箱が出た時に、ふとおやつを食べているだいちゃんに「みてみて、これ面白い形」と見せると、「それほしい!」何に使おうかとわくわくした様子で慌ててアートコーナーへ向かっていきました。

周りにある何気ない物を“〇〇の形に見える”“何かつくってみたい!”と好奇心たっぷりの心でいつも胸を膨らませている子どもたちは、まさにあそびの達人です。さて、空箱の仕切りは何に変身したのでしょうか?

1本1本の棒状にし、箱に入れて…「くじびきにしよう!」おままごとコーナーにあったはっぴを羽織り、“おおあたり”をひいた人は、ドーナツをもらえるという特典も思いつきました。友だちと一緒に相談しながら作ったくじびきをきっかけに、友だちとの関係性にも変化が見られてきたように思います。

偶然にも他の子どもたちもお祭りに出ているようなあそびに興味を持ち、夏ならではのあそびを満喫しています。

友だちや保育者、お迎えに来られた保護者の方にも「くじびきしますかー?」と声をかけてやりとりを楽しんでいる時の表情は、何だか自信にも溢れているようです。

昔から受け継がれている日本の文化“おまつり”は、きっと今までも沢山の人の心に温かさを運んでくれたのだらうと思います。年々暑さが増していますが、これからも大切にしていきたい夏の風物詩の一つです。

K先生

新しい職員の紹介

7月から保育教諭としてかえで保育園に仲間入りしました。学生時代は書道パフォーマンスをしていたり、休日は美味しいご飯を食べに行ったり、楽しい事を見つけるのが大好きです。子ども達のきらきら輝く笑顔を大切に、「たのしい!」を見つけながら共に楽しんでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

Y先生

保護者からのエピソード

だいちの娘はお姉さん風をふかせて「今日は当番がんばったよ！
ひかりさん・いぶきさんのお世話もがんばったの」と教えてくれます。
「娘ちゃんがいぶきさんやひかりさんの時、だいちのお兄ちゃんお姉ちゃんが
がんばってくれてたんだね」と言うと、自分なりに考えて「明日もがんばる！
やさしくするの！」と意気込んでいます。
めばえの息子はできることが少しずつ増えて、保育園でもいろいろな初めての経
験をさせてもらい、いつも楽しそうに過ごしています。

めばえ・だいち組 ゆうこさん

4月に弟が入園し、毎日ニコニコで登園。園生活にもすっかり
慣れた様子で、自分の靴の場所やお兄ちゃんの場所まで覚えています。
降園時には、いつも持ってきて差し出してくれる姿に“ほっこり♡”
しています。
兄は普段より、手先を使ったあそびも好きで、ある日保育室に行くと、た
くさんの積み木で恐竜が住む世界(?)や、新聞紙で作った恐竜を
見せてくれることがありました。これからも想像力を園でたくさん育て
ほしいと思います。
子どもが固定概念に縛られやすい年齢になる前に、自由な想像力を
たくさん引き出し、親は出来る限りで、幅広い経験をさせてあげたいと
改めて思いました。

ふたば・ひかり組 きみさん

かえで保育園に入り、家族みんな本当に楽しく、
嬉しく思っています。お誕生日会が大好きな娘。
最近の流行りは「もうすぐおたんじょうびなの〜♡
(3月)」「5さいになるんだよ♡」…。
飛び級でも狙っているのでしょうか…。

いぶき組 ありさん

今まで鉄棒がうまくできなかった娘。
でも友だちや先生に励ましてもらいながら
最近「やっとできるようになったよ！」と
うれしそうに報告してくれました。
園での生活を通じて苦手なことも頑張って克
服する大切さを身に付けてくれたと感じてい
ます。

ひかり組 ゆうこさん

最近とても成長したなと感じています。
お友達との関係も多くなってたくさんのお
友達の名前も教えてくれて保育園での
お話を聞くのが楽しいです。

だいち組 ゆうこさん

最近は寝る前に、お友達と遊んだ話、
体操の話、給食の話... など、たくさん
お話してくれ、楽しんでるのが伝わり
とても嬉しいです！
これからも毎日たくさん楽しいことが
あるといいなと思います。

つぼみ組 やすかさん

幼児クラスになり、だいち組のお姉さんとのペアが
できたり、成長によりお友達との関わり方が変わり、
自分の感情に気が付くようになってきました。
「今日は〜して遊んだよ」だけではなく、今日〜して
遊んでこんな風に思った、どう感じたか、話してくれる
ようになりました。
これからも色々な感情と一緒に共有していくのが
楽しみです。

いぶき組 なつみさん

お迎えに行くと、「プレゼントがあるよ」と
絵や貝殻をたくさんくれます。家では
教えてもらった歌をよく歌っています。
保育園での生活が楽しいようでその日の出
来事を話してくれるようになりました。

ひかり組 みゆきさん

7月の子どもたちのようす



絵の具で感触遊びをしました。クッキングシートに絵の具を挟み、握ったり叩いたりしながら絵の具の感触を楽しみました。
初めは指で押して不思議そうにしていたのですが、慣れてくるとクッキングシートに挟まずに直接絵の具に触れて楽しめていました。



水遊びが少しずつ始まっています。水たまりに積極的に入り楽しんでいます。また、バケツやダンプカーの玩具に水を溜めてパシャパシャと触り感触遊びもしています。跳ねた水しぶきが顔にかかってもへっちら！全身で水遊びをして心も体も大満足でした。



子どもたちは毎日水遊びを全身で楽しんでいます。中でも子どもたちの憧れはじゃぶじゃぶ池のポンプです。幼児クラスのお友達はいつも簡単にポンプから水を出して遊んでいますが、ふたばさんにとっては動かすことだけでも精一杯です。しかし、「やってみたい！」という気持ちから小さな手で一生懸命上下に動かしています。やっとの思いでポンプから水が出たときは嬉しそうな笑顔を見せてくれるので、こちらまで嬉しい気持ちになる日々です。これからたくさんのやってみたいを見つけたいです。



室内にあるたくさんの楽器に触れました。ボンゴや太鼓をお友だちと共に叩き鳴らしたり、音楽に合わせてタンバリンを叩いたり、ベルの音を楽しんだりめばえ組のお部屋はいつも楽しい音で溢れています。



5月に植えたトウモロコシを先月収穫しました。子どもたちがたくさんお水をあげてくれたおかげで、5つのトウモロコシが実りました。蒸したものをフライパンで醤油で炒めたり、炊き込みご飯にして食べました。とても甘く、子どもたちも昼食で美味しそうに食べてくれました。



5月から大切に育ててきたナスの苗に、たくさんの花が咲き、大きなナスが生まれました。毎日水やりを行い、ナスがどんどん大きくなるのを観察して、友達や保育者に報告するのが日課となりました。収穫の様子をみんなで見守り、へたに絵の具をつけてスタンプ遊びをしたり、焼いて食べてみたり、自分たちで育てたナスを様々な形で楽しむことができました。



園庭ではやまももや花で色水のジュースを作って遊ぶことを楽しんでいます。花紙でいつもと違ったジュースを作りました。次の日、作ったジュースから花紙を取り出して、丸めて団子を作ってみたり、画用紙の上で水を濡らして紙に色がつくのを楽しんだり、「なんでまるくなるのかな」「おもしろいね」と花紙が様々な形に変化する不思議を感じながら遊んでいました。





～アイス屋さん～

室内ではアイス屋さんに毎日行列ができています。「ばばあちゃんのアイスパーティー」という絵本を見て、「アイスを作りたい!」という声がありました。遊びの中で氷を色水で作ると、本当に食べようとする子どももいました。「食べられる本当のアイスをつくってみたい」と子どもたちと考え中です。保育園ではどんなアイスが作れるのか楽しみです。



水遊びや泥遊びが本格的になってきました。園庭にできた水たまりから、スコップで道を作って川にしたりじゃぶじゃぶ池で全身濡れながら水を感じたり。ダイナミックに遊ぶと気付いたら服がどろんこに…洗ってみることにタライに水を溜めて、服を付けて、汚れたところをつまんでゴシゴシ。どんどん汚れてくる水を見て「こんなに汚れてたの!？」と驚く子どもたち。



～空を見てみると～

築山に寝転ぶと様々な雲の形を発見。「ワニみたい」「おやまだ」と保育者やお友だちと似ている形を言い合いました。子ども達の想像力の豊かさに驚かされます。これからも子どもの自由な発想を大切にしていきたいです。そして、空を見ていると、虹を見つけました。「なにかいいことあるかな」と子どもたちは胸を躍らせていました。



ひかり組みんなで読み進めている「ももいろのきりん」の本を題材に好きなシーンや一番好きな登場人物をクレパスで描いたり、色画用紙を切り貼りして主人公「キリカ」の友だちを作りました。子どもたちのイメージが形になる事で、どのように子ども達がストーリーを受け取っているのかを感じる事が出来ました。作って終わり、ではなくこれからもひかり組ならではのストーリーを展開していきたいです。



～七夕コンサート～

朝の集いで幼児みんなで歌っていた『七夕』の歌を Hammond やグロッケンの楽器で音を合わせていました。1人1人が練習していたものを一緒に弾く、歌う楽しさを体験してほしいと感じ七夕のおやつの時間にコンサートをしました。「早く聞いてほしい」と準備をしていざ、みんなの前で発表すると「なんだかどきどきした」「緊張したけどわくわくしたな」と見てもらうことの嬉しさも感じていたようです。「次はみんなで合奏したい」と七夕コンサートの後からベルや Hammond、グロッケンに触れる子が増えていきました。音が合わさる心地よさや友だちと息をあわせる一体感も感じてほしいです。



お台所から



～ルーレットスタート！～

ひみつの時間で話し合いを始める時は『丸になって集まる』が子どもたちの中で定着してきました。みんなが揃うと「今日は果物ルーレットにしよう」とパンパンの手拍子に合わせて好きな果物を順番に話します。

果物が色や先生の名前に変わりながらリズム遊びをしています。

今は文字が流行っていて「星座は…3文字」「シャワーは…4文字かな？」と言葉を知るきっかけにもなっています。お家でも3文字、4文字探しを子どもたちと一緒に探してみてください。



7月5日 七夕まつり

待ちに待った七夕の日。今年も七夕ちらしを作りました。毎年一人ひとつずつの星型のにんじんに大喜びしてくれる子どもたち。すし飯の中には、小さく切った高野豆腐、みじん切りのにんじんとしいたけが入っていて、その上には千切りのきゅうりと、錦糸卵を乗せて、見栄えよく仕上げました。

しいたけを苦手と思う子が多いので、しっかりと味を付け、食べやすい工夫をしていきたいと思います。



7月7日 ゴーヤ

お昼ごはんに登場する「ゴーヤ」をお外で遊んでいた幼児さんに見てもらいました。ゴーヤを半分にした状態のものとそのままの状態のものを見比べて、いつも食べているゴーヤがどんな形や匂いをするのかを実際に触れて体験してもらいました。

夏に登場するゴーヤですが、苦手な子が多く、一口食べて「苦い！」と言っている子もいれば、「頑張って食べたよ！」と嬉しそうに伝えてくれる子もいて、食べ進みはあまりよくはないですが、夏ならではの旬の野菜を今後も献立に登場させていきたいなと思います。また、お台所でも、どうしたらゴーヤが子どもたちにとって食べやすくなるかを日々模索中です。



セミの鳴き声と共に子ども達が大好きな夏がやってきました。園庭に出ると水遊びがしたくてそわそわしている子ども達。シャワーの準備ができたらじゃぶじゃぶ池のポンプの水を全身使って放水開始！放水の先ではふたば組からだい組までの子ども達が列になって水遊びを楽しんでいます。

ダンディタイムのお父さん方にご協力いただき、そうめん流しを楽しみました。乳児から幼児までみんなが参加し、暑さの中でもひんやり涼しさを感じる瞬間を満喫することができました。お手伝いいただき、ありがとうございました。



7月7日 とうもろこしごはん

ふたばさんが園で育てていたとうもろこしが大きく立派に育ち、そのとうもろこしを使って「とうもろこしごはん」を作りました。包丁でそぎ落したとうもろこしを、研いだお米と一緒に炊飯器に入れてスイッチを押すだけで甘くて美味しいとうもろこしごはんの出来上がりです。ポイントは芯からおいしい出汁がでるので、芯も一緒にそのまま入れることです。今回はふたばさんだけが、8月の献立にとうもろこしごはんが登場するので、つぼみさん・幼児さんたちにもたくさん食べてほしいなと思います。



8月のあそびへの思い

めばえ

7月8月に1人ずつ新しいお友だちが入園し、9人での生活となりました。新しく入ってきたお友だちが泣いていると心配そうに顔を覗き込んだり、急いで玩具を渡しにいたり優しい子どもたち。お友だちの存在に気づき、同じ玩具で遊んだりそばで遊んだり“いないいないばあ”を子どもたち同士でしたりする姿が見られるようになってきました。これからも子どもたち同士での関わりが増えていくように、遊びに誘い掛けていきたいと思います。また、気温が高くなってきているので、その日の子どもたちの体調に気を付けて水遊びや水遊びをしていきたいと思います。体調の変化がありましたらお知らせお願いいたします。

ふたば

本格的な夏の暑さがやってきました。子どもたちは暑さに負けず、水遊びや泥遊びを思いきり楽しんで過ごしています。4月の慣らし保育では裸足で遊ぶことに抵抗を感じている子どももいましたが、今では自分の好きな遊びを見つけて夢中で楽しんでいる様子が見られます。室内では机上遊びが盛り上がっていて、パズルや型落としを何度も繰り返して遊びを楽しんでいます。又、お友達とのやり取りも少しずつ見られるようになり、「かして」「どうぞ」等言葉にして自分の思いを伝えようとする姿も見られるようになりました。これからも子ども同士の関わり方を見守りながら、友達と過ごす楽しさや嬉しさを感じてくれたらと思います。

つぼみ

真夏の暑さに負けることなく、毎日元気いっぱいのつぼみ組の子どもたち。太陽の下で汗をたくさんかきながらも、水遊びやなすの収穫をし、クッキングやスタンプをして楽しみました。使いたい玩具がある時は、順番を待ったり交換し合ったりして遊ぶ子どもや、野菜の名前を覚えて、苦手な野菜に挑戦する子どもなど、一段と成長した子どもたちの姿が見られます。また、登園後の用意やシャワー後の着替えなど、自分でできることを進んでやってみようとする姿も多く見られるようになっています。できたことを大いに認め、一人で難しいところはさり気なく手伝いながら見守っていきたいと思います。これから夏本番がやってきますが、夏野菜を沢山食べて、こまめに水分を取り、今年の夏を子どもたちと共に乗り越えていきたいと思います。

いぶき

梅雨が明け暑い夏がきました。いぶき組は7月に新しいお友だちを迎え、19人での生活が始まりました。お友だち同士で教え合う姿や一緒に遊び笑い合う姿も見られ、お友だち同士の関わりも深まっています。七夕の会では、普段とはちがう子ども達の表情をたくさん見ることができました。「何があるんだろう」というワクワクした気持ち。終わった後に身体をはずませながら「たのしかった」「また明日もしたい」と言って笑顔を見せる子どもたち。幼い時の「楽しかった」という気持ちをたくさん積み重ねていき、温かい思い出として記憶の中に残っていつてくれるよう、夏はダイナミックに水あそびや絵の具あそびを楽しみたいと思います。

ひかり

気温が高くなり、園庭で立っているだけでも汗ばむ季節になりましたが、子どもたちは毎日ワクワクを見つけて遊びを楽しんでいます。さて、ひかり組で育てているトマトが色づき始めました。今までトマトの成長を見守ってくれている子が「先生！トマトが黄色くなってきてるよ！」と朝一番で教えてくれました。それを聞いていた周りの子どもたちも「え！どこどこ？」と興味を持ち、トマトの周りに集まって観察を始めます。「赤くなったら食べられるのかな」「今はまだ酸っぱいかな」などと子どもたち同士で会話を楽しみ、24日に無事第一号を収穫しました。とれたてのトマトをみんなで食べると「甘くておいしい！」「もっと食べたい」と子ども達にも大好評でした。興味のあることをきっかけに、友だち同士の関わりが深まっているのを感じる場面が増え、嬉しく思います。これからも1人から2人、2人から数人、数人からクラス…と「友だちの輪」が広がってくれることを願っています。

だいち

『ひみつの時間』として食事をしてから各お当番が終わり、いぶき組とひかり組が身体を休めている間をだいち組は春から過ごしています。最近のひみつの時間では、みんなが少し困っていること、聞いてみたいこと、考えてみたいことを話し合う機会が増えてきました。絵本室での過ごし方やお当番が終わってからの過ごし方、散歩先の提案等、人前で話すことや相手の話に耳を傾けたり、新しい発想や意見を子ども同士で受け止められる時間となるよう関わっています。葛藤や嬉しさも感じながら話し合う機会を繰り返す中で、少しずつ友だちの気持ちや自分の気持ちにも気づけるようこつこつ積み重ねていきたいです。

はまかせ

一階のにこにこ広場前では子ども達が様々な生き物を飼育しています。季節によって入れ替わりながらも今はカブトムシ、カエル、そして古株のカメが生活しており、それぞれ担当の子ども達が責任を持って育てています。カエルのみどりちゃんとスーパーカーは油断すると自慢の跳躍で逃げてしまうので、飼育ケースを開けて水の入れ替えをする時の子ども達の表情は真剣そのものです。カメのいっちゃんともりぴーは、週末に水槽から脱走するわんぱくぶりを発揮し、週明けにみんなで園庭を大搜索することが恒例となっています。どうしたら脱走しないか、子どもたちが意見を出し合い思案中です。また、蝶やカブトムシは、幼虫から成虫に成長していく過程を観察することで生き物の生命力を間近で感じる事ができ、子ども達にとってかけがえのない経験となっています。いぶき組の子ども達はだいち組、ひかり組のお兄さんお姉さんが生き物のお世話をしている様子を興味津々の様子で見守っているので、今後はしっかりお世話を引き継いでくれることと思います。